

平成28年度 津田小学校評価計画書

- 1 学校教育目標 『夢に向かいチャレンジする津田小の子』 ～自ら考え行動する子・自他を大切にすること・元気にチャレンジする子～
- 2 ミッション 「夢に向かい諦めず夢を育む児童の育成」をするために知・徳・体のバランスのとれた児童を育成する
- ビジョン 児童・教職員・保護者・地域が共に誇れる学校をめざす

評価計画				取組の方策		必要なアンケートの項目 チェックする時期と担当者など													
中期経営目標	短期経営目標	評価項目	担当	評価指標（目標値）	評価														
確かな学力（知）	・基礎、基本の力を身に付け、自ら学び、考え、表現する「確かな学力」を育む	◎基礎的・基本的な知識、技能の定着	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	教務部	・児童に確かな学力をつけている。	80%以上	4	① チャレンジタイムで基本的な内容を定着させる。 ・視写に取り組み書く力をつける。 ・各学年の目標を決める。「丁寧に素早く集中して」 ・1週間同じ内容を視写し、伸びを実感させる。 ② 授業づくり ・単元全体を見通した授業づくりをする。 ・既習事項を活かして次の課題を解決する授業の流れを作る。 ・授業の見直しを持って時間配分を守り、適問問題をを行い、「わかった」「できた」と実感させる。 ・最終的に自力解決のできる子どもを育てる。	「全国学力テスト」調査結果（4月）										
						70～79%	3												
						60～69%	2												
						60%未満	1												
						80%以上	4												
						70～79%	3												
						60～69%	2												
						60%未満	1												
						80%以上	4												
						70～79%	3												
						60～69%	2												
						60%未満	1												
豊かな心（徳）	・生命を大切にしたい気持ちを持って行動できる「豊かな心」を育む	○ 積極的な生徒指導を推進し、いじめの0の学校をめざす。 ★自他の良さを知り、自己有用感の育成	2 1 1 1	生徒指導部	・命を大切にし、自他を認めたい気持ちを許さない、いじめをしない学校・学級集団になっている。	90%以上	4	・帰りの会で全学年、週に3回は「いいこと見つけ」を行い、「今週の1枚」を放送・掲示する。全校全員が認められる機会をもてるように、席替え後に「ありがとうメッセージ」を贈るなど学級実態に合わせた取組をする。 ・アセスによる学級全体と個人の傾向を把握し、取組に役立てる。 ・面談週間を取ることで、1人1人の児童と丁寧に話をしたり、聞いてくれる時間をもつ。	児童アンケート（7月、12月） 「学校に友だちがいる」「学級のみんなから認められている」「津田小学校はいじめのない学校になっている」										
						80～89%	3												
						70～79%	2												
						70%未満	1												
						健やかな体（体）	・活力ある生活の基礎となる体力や運動能力を養い、「健やかな体」を育む			◎ 健康に対する意識を高め、活力ある生活の基礎となる体力や運動能力を育む	3 1 1 1	健康安全部	・自ら進んで体力づくりに取り組み、運動能力が向上している。	8/12以上	4	・体育の時間に走る運動、ボールを投げる運動、ハンドグリップを使った運動や鉄棒やうんていを使ったサーキットを継続的に取り入れる。 ・外遊びを奨励し、日常生活の中で体力や運動能力を育むようにさせる。	・体力テスト(5月末)実施後、テスト結果を7月中旬までに集計・評価する。 ・課題のあった項目について再テスト週間を(2月末)を設定し、伸びを評価する。		
														6/12	3				
														4/12	2				
														2/12以下	1				
														80%以上	4			・各教科の時間を使い、ねらいをはっきりさせた食育を推進していくことで、児童の食への関心を高める。 ○好き嫌いなくなんでも食べられる。 ○給食の残量を減らす。 ○栄養のバランスを考えて調理の計画を立てたり食事をしたりすることができる。 ○見直しを持って調理する。 ○家族とのふれあいや感謝する気持ちを育てる。 ・「お弁当」交流の場や、肯定的評価の場、家族との振り返りの場を設け、内容を紹介していく。	・児童の委員会活動で残菜を減らす呼びかけをする。 ・弁当の日の後、児童用の振り返りカードから評価する。(6月、11月、2月) ・弁当の日の後、取組に対するアンケートを保護者対象に行う。(6月、2月)
														70～79%	3				
														60～69%	2				
														60%未満	1				

平成28年度 津田小学校評価計画書

- 1 学校教育目標 『夢に向かいチャレンジする津田小の子』 ～自ら考え行動する子・自他を大切にする子・元気にチャレンジする子～
- 2 ミッション 「夢に向かい諦めず夢を育む児童の育成」をするために知・徳・体のバランスのとれた児童を育成する
- ビジョン 児童・教職員・保護者・地域が共に誇れる学校をめざす

評価計画					取組の方策		必要なアンケートの項目 チェックする時期と担当者など
中期経営目標	短期経営目標	評価項目	担当	評価指標（目標値）	評価	具体的に、取組指標も入れる	
信頼される学校	○ 地域文化の伝承や歌声等の学校文化を創造し、発信する。	・学校支援地域本部の力をいただき、地域と共にあゆむ授業を展開しようとしている。	学校評価委員会	80%以上	4	・各学年の学校支援地域本部に支援をいただき、地域の力を活用した授業後の児童アンケートによる肯定的評価の割合	児童アンケート 「地域の人に教えていただいたり、一緒に活動したりするのは楽しいですか。」 『津田のことについて、「もっと知りたい」、「調べてみたい」と思うことがありますか。』（3年生以上）
				70～79%	3		
				60～69%	2		
				60%未満	1		
小中連携 ・将来への夢や希望を持たせ、基礎的基本的な学力と基本的な生活習慣の向上を図り児童の自己肯定感・自己有用感を高める。 ・自信と誇りを持った児童	◎家庭学習に自ら取り組む児童の育成	・児童が自ら進んで家庭学習に取り組む姿勢が身についている。	教務部	80%以上	4	・家庭学習ステップアップ週間を学期1回実施し、家庭での過ごし方を意識させ、保護者にも協力を得る。 ・家庭学習ステップアップ週間カードで、学習時間、自主学習の伸びを見取り、ふり返りをさせる。 ・「自学のすすめ」をもとに学習の仕方を指導し、自分で取り組む課題を週1回以上行わせる。（家庭学習の質を上げる） ・普段から、分からないまま空白で終わらせない指導をする。（必ず解答する、自分で調べるなど）	児童アンケート（7月、12月） 「学校がある日に、家でも学年の目標時間以上勉強していますか。」 保護者アンケート 「子どもは学校があった日、家でも学年の目標時間以上勉強していますか。」
				70～79%	3		
				60～69%	2		
				60%未満	1		
	○マナーや規範意識の育成	・「さいきつノート」とあるマナーや規範意識を守ろうとしている。学習規律の徹底。	生徒指導部	90%以上	4	・「さいきつノート」を活用した共通指導と実態を交流。 ・学期末に学校のきまりが守れているか自分を振り返らせる。 ・「あいさつ運動」の取組を継続して行う。 ・毎日たてわり班掃除にすることで掃除の仕方がより徹底するようにする。高学年にリーダーとしての自覚をもたせる。 ・自問清掃が徹底するように自問タイムを設け、確実に実行。 ・「そうじ反省会カード」を使っでの振り返りを行う。（チェック項目7つのうちの1つをリーダーが進んで班員に伝える。1つずつ確実に項目がクリアするようにする。）	児童アンケート：「出会った人に大きな声であいさつしている」 保護者アンケート：「津田小学校の子どもは出会った人に元気よく挨拶をしている」 7月、12月 児童アンケート：「掃除を時間いっぱいはいないにやっている」 保護者アンケート：「津田小学校は掃除の行き届いた学校になっている」 7月、12月 児童アンケート：「学習規律が徹底している」 7月、12月
				80～89%	3		
				70～79%	2		
				70%未満	1		

★小中学校共通項目